

# 2007年度 中間決算説明会

---

2007年11月15日

ユニチカ株式会社



**UNITIKA**  
We Realize It!

## 目次

**I. 2007年度 中間決算実績 P3**

**II. 2007年度 通期決算予想 P11**

**III. その他今後の課題等 P14**

# 2007年度 中間決算概要

## I. 2007年度 中間決算実績

(億円)	06年度 中間期	07年度 中間期	増減	07年度 中間期(予想)
売上高	1,041	1,117	+76	1,100
営業利益	54	45	▲ 9	45
経常利益	42	31	▲10	25
中間純利益	20	17	▲ 3	15

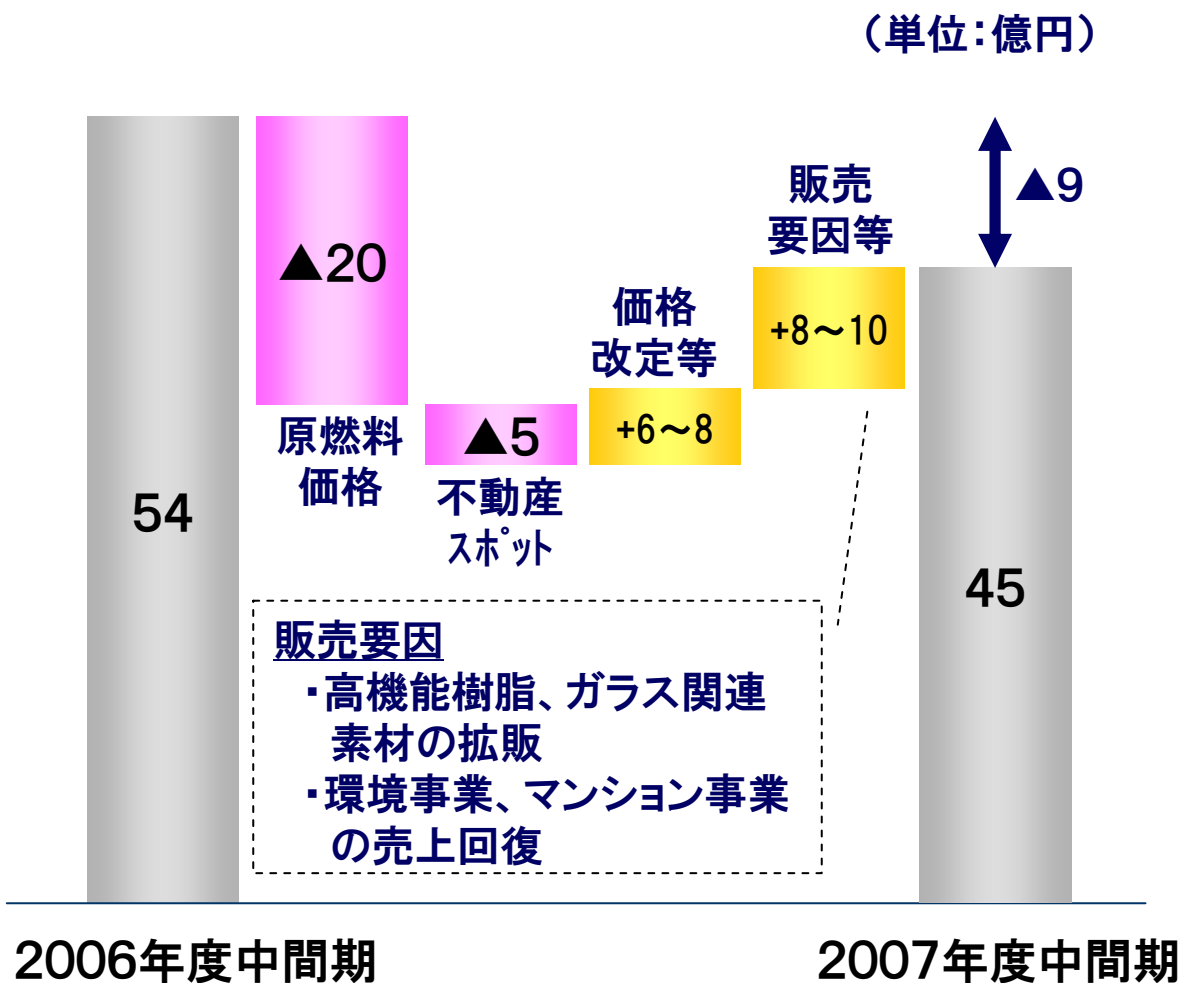
### ◆前年同期比 増収減益

- ・高分子事業、機能材事業での増販、環境事業、マンション事業での売上回復等により増収
- ・原燃料価格高騰に対し製品価格改定が十分進捗せず減益

### ◆中間業績予想に対しては、全体として計画オンラインで進捗

# 営業利益の増減要因分析

I. 2007年度 中間決算実績



原燃料価格高騰の影響に関して

前年同期比で ▲20億円程度

↓

製品価格改定、構成改善により全体として原料価格上昇の50%程度吸収

コストダウン効果は数億円

# 財務及びキャッシュフロー

## I. 2007年度 中間決算実績

(億円)	2007年 3月末	2007年 9月末	増減	
資産合計	3,284	3,206	▲78	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上債権の入金による減少</li> <li>・株式の売却</li> <li>・有利子負債削減 (▲20億円 ⇒1949億円)</li> <li>・自己資本比率 10.9%</li> </ul>
流動資産	1,401	1,362	▲38	
固定資産	1,883	1,844	▲40	
負債合計	2,884	2,810	▲74	
純資産合計	400	396	▲4	

(億円)	06年度 中間期	07年度 中間期	
営業CF	73	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入債務の減少</li> <li>・売上債権の減少が一時的に鈍化(通期は例年並)</li> </ul>
投資CF	▲39	▲13	
財務CF	▲20	▲31	
現金等残高	157	131	

# セグメント別収益変動まとめ

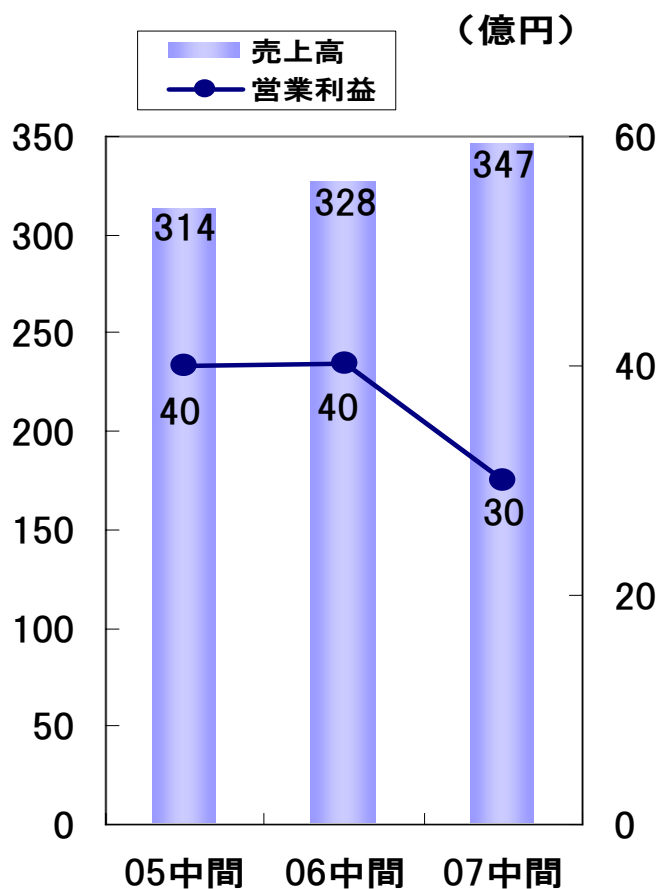
I. 2007年度 中間決算実績

(億円)	売上高			営業利益		
	06年度 中間期	07年度 中間期	増減	06年度 中間期	07年度 中間期	増減
高分子	328	347	+19	40	30	▲10
環境・機能材	115	145	+30	3	7	+4
繊維	502	518	+16	8	7	▲1
生活健康・その他	97	107	+10	13	11	▲2
消去・全社				▲10	▲10	▲0
合計	1,041	1,117	+76	54	45	▲9

# セグメント別収益変動

I. 2007年度 中間決算実績

## 高分子事業

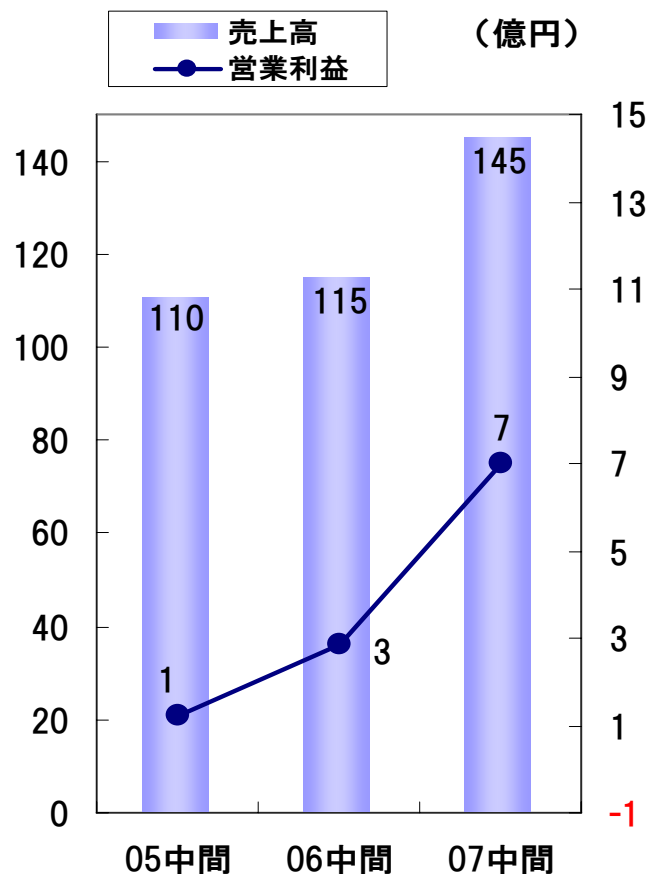


フィルム	増収減益	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ナイロンフィルムは国内外の増販で売上増、原料価格の高騰に対し価格改定が進捗せず減益</li> <li>◆エステルフィルムは概ね横ばいで推移</li> </ul>
樹脂	増収利益横ばい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ポリアリレート樹脂が自動車、IT関連分野を中心に販売拡大</li> <li>◆ナイロン樹脂は原料高騰で採算が悪化</li> <li>◆ペットボトル用樹脂の販売が減少</li> </ul>
不織布	増収利益横ばい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スパンボンドはオムツ、自動車内装材、輸出関連等が堅調、土木・建築、農業用等が苦戦</li> <li>◆スパンレースは化粧雑貨用を中心に堅調</li> </ul>

# セグメント別収益変動

I. 2007年度 中間決算実績

## 環境・機能材事業



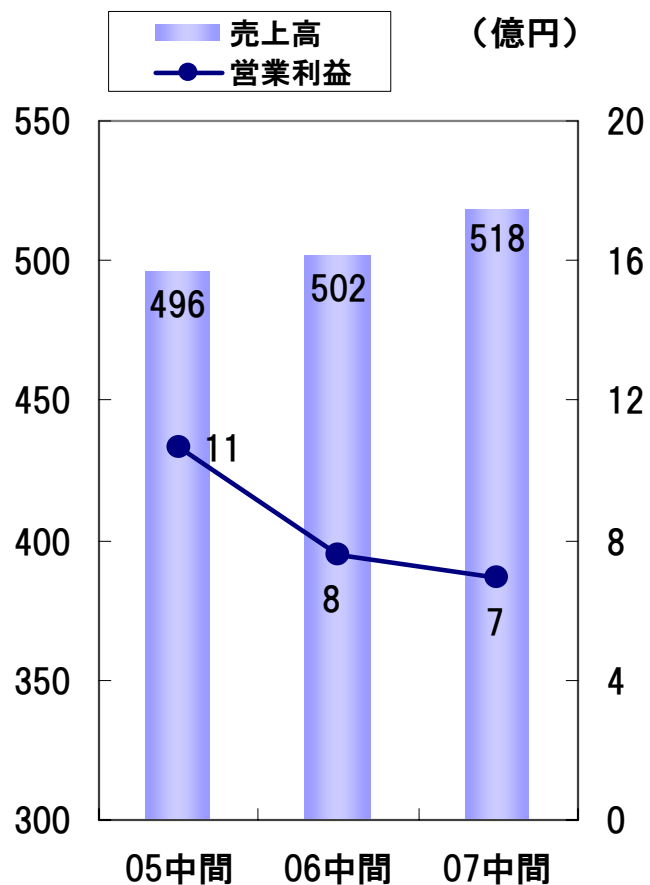
環境	増収増益	<p>◆ ごみ焼却炉分野を中心とした既受注案件の工事進捗により収益計上が進む</p> <p>※ 足下の受注環境は公共事業の回復鈍化、業界内の競合激化により厳しい状況が続く</p>
機能材	増収増益	<p>◆ 産業資材向けガラス繊維堅調</p> <p>◆ ICクロスは在庫調整の影響を受ける</p> <p>◆ 高品位ガラスビーズの輸出が伸長</p> <p>◆ 活性炭繊維は廃液浄化・脱臭用途が堅調に推移</p>



# セグメント別収益変動

I. 2007年度 中間決算実績

## 繊維事業



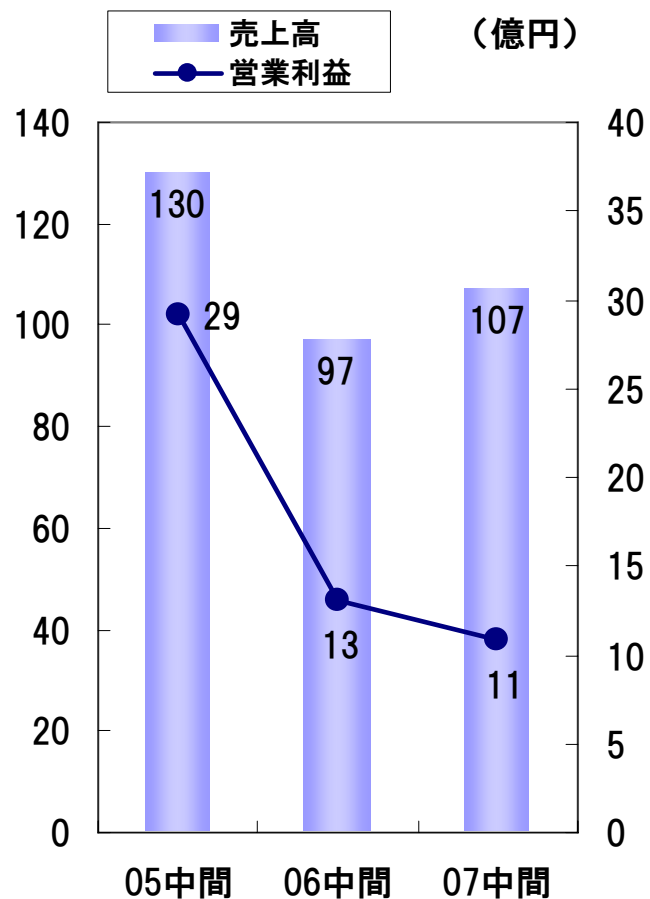
合成繊維	増収減益	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ナイロン繊維 原料高騰により採算悪化</li> <li>◆ポリエステル繊維 長繊維は衣料低調、産業資材堅調 短繊維は増販・価格改定進捗</li> <li>◆ビニロン繊維 FRCの輸出伸長(アスベスト代替)</li> </ul>
天然繊維	増収微増益	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特需ユニフォームによる売上増</li> <li>◆一般衣料の市況悪化</li> <li>◆原燃料高騰、中国元高による採算の悪化</li> </ul>

	売上高			営業利益		
	06年度 中間期	07年度 中間期	増減	06年度 中間期	07年度 中間期	増減
ユニチカファイバー	181	193	+12	3	2	▲1
ユニチカテキスタイル	109	105	▲4	▲1	0.5	+1

# セグメント別収益変動

I. 2007年度 中間決算実績

## 生活健康・その他事業



生活健康	収益横ばい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハナビラタケ健康補助食品は減少 新たなサプリメントの上市、店舗販売拡大等の取組みを推進</li> <li>◆メディカル事業は抗血栓性カテーテルの収益が伸長</li> </ul>
その他	増収減益	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆マンション販売が好調に推移</li> <li>◆営業用不動産のスポット収益が減少</li> </ul>

### ※その他事業

不動産関連(マンション販売、賃貸、営業用不動産開発)  
設備技術、情報システム 等

# 2007年度 通期決算予想

## Ⅱ. 2007年度 通期決算予想

(億円)	06年度 通期実績	07年度 通期予想	増減
売上高	2,206	2,400	+194
営業利益	112	135	+23
経常利益	85	90	+ 5
当期純利益	26	40	+14

### ◆前年比 増収増益を予想

- ・高分子事業、繊維事業での製品価格改定の浸透
- ・高機能樹脂、機能材料分野での拡販
- ・環境事業の収益改善
- ・マンション販売を含む不動産事業の収益増 等

### ◆通期での原燃料価格高騰影響は▲30億円程度の見通し

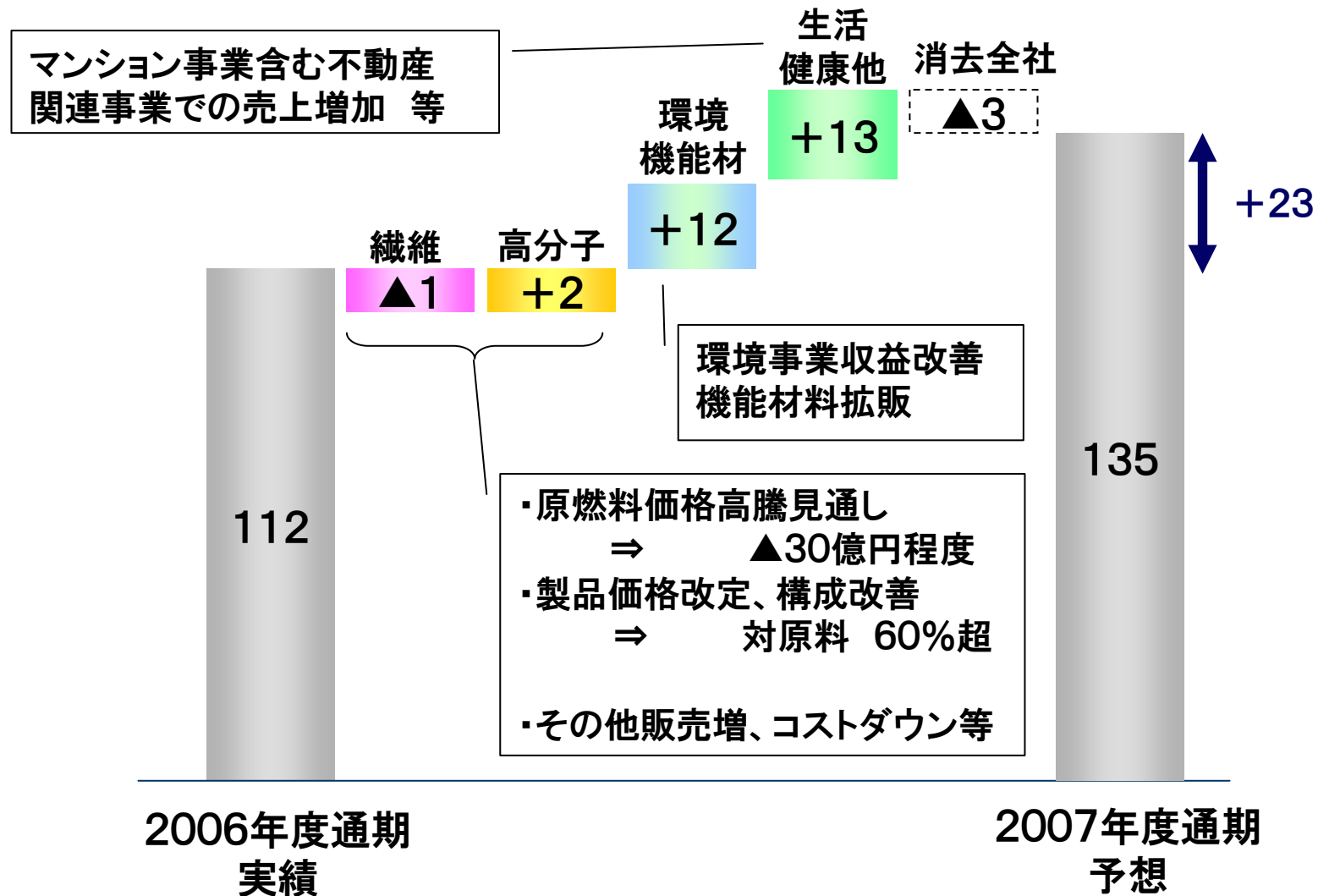
# セグメント別収益変動予想

Ⅱ. 2007年度 通期決算予想

(億円)	売上高			営業利益		
	06年度 通期実績	07年度 通期予想	増減	06年度 通期実績	07年度 通期予想	増減
高分子	662	720	+58	76	78	+2
環境・機能材	289	370	+81	23	35	+12
繊維	1,032	1,060	+28	21	20	▲1
生活健康・その他	222	250	+28	22	35	+13
消去・全社				▲30	▲33	▲3
合計	2,206	2,400	+194	112	135	+23

# 営業利益増減(セグメント別)

Ⅱ. 2007年度 通期決算予想



# 設備投資等の状況

## Ⅲ. その他今後の課題等

(億円)	06年度		07年度		
	中間期	通期	中間期	通期予想	
減価償却費	31	66	31	68	通期 前年度比 +21
設備投資	27	57	34	79	

設備投資内訳 (億円)	06年度		07年度	
	中間期	通期	中間期	通期予想
高分子	14	25	13	22
環境・機能材	4	11	10	28
繊維	7	14	6	16
生活健康他	1	7	5	12

- ◆機能材増強  
ICクロス用途  
反射材用途
- ◆ビニロン繊維増強

# 事業育成課題(07年下期～)

## Ⅲ. その他今後の課題等

### 各設備増強案件

- ◆ ビニロン繊維 生産能力(年間) 10,000t ⇒ 13,000t (2008年10月予定)  
セメント補強用(FRC)向け(アスベスト代替材)  
東欧、東南アジアなどの輸出向けを強化
- ◆ ガラス関連素材 ICクロス – 極薄クロスの強化  
ガラスビーズ – 反射材向け生産能力増強

### テラマック関連

2007年上期 販売量 約600t ⇒ 年間需要量 2000tの確保が視野に

部門	販売量比	最近の採用例
フィルム	約50%	青果物パック、コンビニ食品容器用途 等
繊維	約30%	寝装用品の中綿、紅茶ティーバッグ用途 等
樹脂・不織布	約20%	住宅照明器具、OA機器用途 等

## ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。